

マークシートじゃ
分からない
あなたが

見たい。

2014

AO入試ガイド

Admissions Office Entrance Examination

AO入試について

AO入試とは What are Admissions Office Entrance Examination?

鳥取大学は、「知と実践の融合」を教育理念に掲げ、教養豊かな人材の養成や地域社会の産業、文化等への寄与を教育目標にしています。

このため、入学者選抜においても、AO入試を採用して、多様な才能を持った意欲ある人を選抜します。

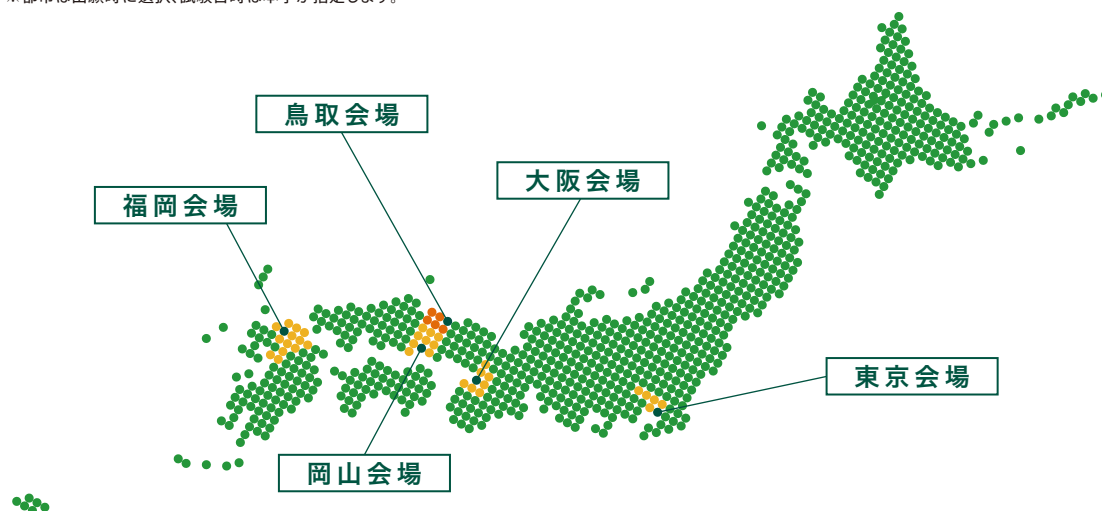
スケジュール

出願期間	平成25年 9月 5日(木) ~ 9月10日(火)
第1次選考(本学を含む5会場)	平成25年 9月20日(金) ~ 9月29日(日)
第1次選考結果発表	平成25年10月 8日(火)
第2次選考(本学)	平成25年10月19日(土) ~ 10月20日(日)
合格発表	平成25年10月29日(火)
入学手続	平成25年11月15日(金) ~ 11月16日(土)
入学前教育合宿研修	平成25年11月15日(金) ~ 11月17日(日)

第1次選考試験日・会場

試験日	都市	試験会場(所在地)
平成25年9月20日(金)	福岡	アクロス福岡(福岡市中央区天神1-1-1)
平成25年9月20日(金)	東京	AP品川(東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル9F・10F)
平成25年9月21日(土) ~ 9月22日(日)	大阪	大阪ガーデンパレス(大阪市淀川区西宮原1-3-35)
平成25年9月23日(月) ~ 9月25日(水)	岡山	岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町14-1)
平成25年9月26日(木) ~ 9月29日(日)	鳥取	鳥取大学鳥取キャンパス(鳥取市湖山町南4-101)

※都市は出願時に選択、試験日時は本学が指定します。





平成25年度AO入試第1次選考 選抜のポイント

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて第1次選考のポイントを示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

1 書類選考

試験委員で、提出書類の志望理由書、自己推薦書、調査書の精査を行いました。志望理由書と自己推薦書からは、「学科への意欲関心」、「潜在的な力」、「活動歴」、「表現力」を中心に評価しました。志望理由書の資格・検定等と調査書からは、資格取得の内容、特記事項の記載事項を中心に評価しました。また、英語に関する資格では、一定以上の実力があると判断した場合に加点しました。

2 個人面接

受験生1名に対して試験委員2名で15分程度行いました。志望理由書から、なぜ本学・学部・学科を志望するのか、学びたい学問の興味関心がより深いのか、大学卒業後に何をしたいか、なぜAO入試で受験するか、それらについてより詳しく、具体的な説明を求めたり、質問内容を正しく理解しているか、回答が自分でよく考え、論理的かつ明確に表現できるかを中心に評価しました。自己推薦書から自分の強みは何か、学校生活で力を入れて取り組んだことは何かについて、より詳しく、具体的な説明や論理的かつ明確に答えられるかを中心に評価しました。

入試データ

鳥取大学 AO入試実施学科の入学試験状況

(平成25年度、平成24年度の過去2年間、カッコ内は女子を内数で示す。)

学部	学科	平成25年度入試				平成24年度入試			
		募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	第2次選考合格者数	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	第2次選考合格者数
地域学部	地域政策学科	6	18(4)	12(4)	6(2)	6	29(8)	18(8)	7(4)
	地域教育学科	4	26(16)	10(10)	4(4)	4	31(21)	13(13)	4(4)
	地域文化学科	4	15(12)	8(8)	4(4)	4	17(10)	6(5)	5(5)
	地域環境学科	5	6(1)	5(1)	3(1)	5	12(3)	10(3)	4(1)
工学部	社会開発システム工学科	5	14(0)	4(0)	1(0)	5	11(2)	8(2)	3(2)
農学部	生物資源環境学科	14	66(30)	28(16)	10(8)	14	58(27)	28(17)	14(9)

3年 | 池田 絵理子 さん [鳥取県立鳥取東高等学校 出身]

AOは自分の熱意を伝えられるチャンス

身寄りのないお年寄りをご近所みなでお世話するような温かい地域で育った私。「地域に貢献できる人になりたい」と進路を模索する中、自分が何を学ぶかが一番見えたのが鳥大の地域政策でした。高3最初の個人懇談の時、地域に対する熱い思いを担任の先生に話すと、「そこまでの考えを持っているなら」とAO入試を勧めてくれたんです。早速、受験の準備を開始。地域政策についての知識を増やすため、新聞やニュースを見て気になる言葉を短冊に列挙、「これとこれを組み合わせたら地域活性化につながるのでは」と考える時間を作りました。この方法は面接や課題論文にも応用でき、すごく役立ちました。

人に惑わされない“自分づくり”が大切

面接は瞬間の勝負だから、やはり練習が大事。高校最後の文化祭の真っ最中も、放課後に残って先生と特訓。おかげで自信が付きました。本番では、とにかく自分を出し切ることに専念。最初は面接官の目線が厳しかったのですが、話すごとに表情がにこやかになり、手応えを感じました。スクーリングはメモを取ってもOK。次の課題論文につながる講義なので、自分の中に「入れる」感覚で講義に集中。論文は、いかに自分に置き換えて表現できるかがポイント。詰め込みすぎて軸がぶれないよう心がけました。AOで大切なのは“自分づくり”。周りの意見に惑わされない意志を持っていれば、何があっても怖くありません！

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：6人

【趣旨】多角的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献できる人間の育成を目標としています。このため、自ら学ぼうとする学習意欲を持つ人を、様々な観点から総合的に評価するためAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
- 地域の様々な資源を効果的に活用し、発展させるための提言ができるようになりたい人



鳥取のお気に入り

街と人の“温かさ”にホッ

鳥取の澄んだ空気と街の優しい雰囲気が大好き！どこに行っても自然がたっぷり、心のリフレッシュができます。顔を見かけたら必ず声をかけてくれる人の温かさも心に染みますね。

平成25年度AO入試第2次選考＜選抜のポイント、面接・論文等の出題例等＞

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

全体を通して求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング、課題論文

スクーリングは、本学科教員による地域政策に関する講義とその内容についての質疑応答を行いました。課題論文は、スクーリングのテーマを踏まえた設問について出題しました。スクーリングの内容を理解し、自らの身近な問題と結びつけて発想し、自分の考えを交えて論理的に課題に答えているか、それらを適切に表現できているかという点などについて評価しました。なお、平成25年度入試のスクーリングのテーマは「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」についてでした。

グループディスカッション

グループディスカッションは、受験者を小グループに分け、グループ毎に討論を行いました。設定された課題に対する自分の考えを論理的に述べることや、他の受験生の意見などを聞いた上での意見のやり取りなど、多面的に評価しました。

個人面接

個人面接では、志望動機や地域政策学を学ぶ意欲、個人アピールなどを質問しました。面接時間は約20分間でした。

3年 | 白井 和香子 さん [広島県立世羅高等学校 出身]

鳥取のお気に入り

合言葉は「足湯に行こう！」
三朝・浜村・東郷など、鳥取には温泉がいっぱい！友達に「今日は何する？」と声をかけると、返ってくる答えは必ず「足湯！」(笑)。気軽にいけるし、疲れがとれてスゴく気持ちいいですよ。



記述も論述も「まとめ方」がポイント

保育士と幼稚園教諭、両方の資格が取得できる大学を探していたところ、担任の先生が鳥大の地域教育を見つけてくれました。しかもAO入試があると知り、人と話すのが得意な私は「自分の強みを生かせる」とチャンスを感じて受験を決意。でも、文章を書くのは苦手で、入学志願票の作成には大苦戦。アピールしたいことを箇条書きにして文章構成を決め、それに肉付けしていく形でなんとか完成させました。1次面接の練習では、①質問に対して現状を語る、②自分の気持ちや体験を入れる、③明るい未来につながるようにまとめる、の3段階を意識。先生のアドバイスで流れるよい発言ができるようになりました。

無理にこじつけず、素直な自己表現を

2次選考の口頭発表は小論文とリンク。自分の書いた文章を図で示し、プレゼンするという方式。面白い図が書けなかった上、「なぜその矢印がそちらの方向を向いているのか分からない」と突っ込まれて焦りました。でも、私の考えを丁寧に説明。無理なこじつけはダメですが、自分なりの意見をきちんと述べること、間違えたと思ったときは素直に訂正する勇気が必要だと思います。グループディスカッションは対策本を熟読。教育系の討論では言い合いは厳禁、テーマから逸れないように意見を述べるのがポイントですね。大学では講義や実習のほか、託児のアルバイト、少年自然の家で指導員の補助をするなど、夢を叶えるためにスキルアップ中です！

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：4人

【趣旨】学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成をめざしています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多角的に総合評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心をもち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え、柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
- 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人
- 大学での学習を通じて自己の価値観を築き上げようとする人

平成25年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

全体を通して求める力

地域教育のキーパーソンとしての確かな基礎学力が必要とされることは言うまでもありませんが、その上に、柔軟で創造的な思考力、発言力のある人が望ましいと考えます。

※第2次選考では、第1次選考の評価を加えることなく、第2次選考の評価結果のみを採用しました。提出書類は主に個人面接試験時において、質疑応答を進める参考資料として用いました。

小論文、 口頭発表 (1日目)	小論文は120分。「子ども権利条約」の英文和訳課題を出題しました。また、それに関連するエッセイを読んで、子どもの権利について多面的に論述する課題としました。 口頭発表は、小論文を踏まえて自己の考えを述べるとともに、質疑応答を行いました
グループディスカッション、 個人面接 (2日目)	グループディスカッションは受験者全員で行い、参考資料を読んだ上で、「子どもの生活のあり方」について自由討論を行いました。個人面接は各自15分を目安に行いました。

4年 | こんどう みゆき 近藤 美幸 さん [岡山県立津山東高等学校 出身]

鳥取のお気に入り

鳥取駅前でカフェめぐり

鳥取駅前周辺にはかわいいカフェがいっぱい！古民家を改築したものや、こだわりのコーヒーやパンが頂けるお店など個性派ぞろい。木づくりで優しい照明のカフェでくつろぐのが大好きです。



将来の夢に向かってAOでチャレンジ!

私が地域文化学科のAO受験を決めたのは、出願〆切り直前の高3夏休み明け。中学校の国語教師になりたいと考えていて、当初は別の大学の文学部を志望。そこへ担任の先生が鳥取のAO入試を見つけてきてくれたんです。5歳から書道、小2からソフトボールを続けてきたことが活かせると思い、即決。すぐさま準備に取りかかりました。最初の壁は自己推薦書の作成。書道は八段を持っていますが、それだけではアピール不足。どういう観点で深めるかが難しかった。先生の添削を受けながら、日本独特の文化であり、その修練の中で心の落ち着き、根気が芽生えたことなどをできるだけ具体的に記入しました。

多様な試験内容だけに対策は早めに

1次面接の練習では先生のするどい突っ込みには答えることができず、くじけそうになったことも。でも、厳しい練習のおかげで本番は緊張もなく、逆に自分のことを知ってもらえるのが快感だったくらい(笑)。2次の自己表現では書道を実演。道具の準備から始まり、姿勢や心構え、書き方、片付け方まで、すべてを見ていただきました。個人面接の英語による質疑応答は、グループディスカッションや課題論文の対策に追われて手が回っておらず、想定していなかった質問をされて大慌て!しどろもどろでなんとか答えたものの、準備不足が露見する結果に…。AOは試験日が9・10月なので、早め早めに対策をスタートさせることが重要です。

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定): 4人

【趣旨】 様々な地域の文化(言語・文学・歴史など)の特性を深く理解しつつ、地域文化の継承・発展に寄与できる人や、国際的な視野をもって活躍できる人の育成を目標としています。このため、これらの領域における意欲、資質、能力を多様な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 地域固有の文化・伝統に関心があり、その文化資源の継承、発展を地域の人々とともに進めたいと思う人
- 国際的・実践的なコミュニケーションの力を身につけ、広く社会に貢献したいと思う人

平成25年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

全体を通して求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があって、他者の話によく耳を傾けて理解しようとす姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらをわかりやすく表現する力を求めます。

※第1次選考の評価は第2次選考の評価には加えませんでした。提出書類(調査書・入学志願票)は第2次選考において受験生に関する基礎情報、受験生の特徴把握や個人面接における質問の参考資料として用いました。なお、第2次選考の試験委員は3名で行いました。

自己表現、グループディスカッション(1日目)

自己表現では、15分間以内で自己アピールを行いました。受験生が高校生活でしてきたことや得意なこと、考えてきたことを自由に表現してもらい、受験生がどのようなことを大事にしてきたのか、どのような感性をもっているのかを見ました。グループディスカッションは、3時間程度を要しました。受験生1人ひとりが発言する時間は等しく保証しました。

課題論文個人面接(2日目)

午前の課題論文では、テキストを読んで、問い(1つ)に800字から1200字以内で論述しました。テキストは3つでした。午後の個人面接は、受験生1人に対し試験委員3名が面接する形式で、受験生1人あたり15分から20分程度行いました。提出書類や自己表現、課題論文などを参考にして、志望理由や意欲の強さ、文化やさまざまな交流への関心などを確認しました。また、ごく簡単な英語での質問も数問行いました。

いまにし たかひろ
2年 | 今西 隆博 さん [兵庫県立香住高等学校 出身]



鳥取のお気に入り

鳥大キャンパスも鳥取砂丘!?

山陰海岸ジオパークの一つである「鳥取砂丘」は、辺り一面サンドベージュでまるで別世界！一見の価値あります。実は鳥大周辺も鳥取砂丘の一部なんだとか。「湖山砂丘」というそうです。

オープンキャンパスで学科の魅力を実感

僕の故郷・香住は山陰海岸ジオパークの一角で、日本海の海岸線に貴重な地質や地形が数多く見られる地域です。地元が大好きで山陰海岸ジオパークの研究がしたいという希望を胸に、高3の8月にはオープンキャンパスに参加。地域学部を訪れたとき、思いがけず学科の先生とお会いする機会が得られ、大学での勉強や研究室のことなどを1時間ほどマンツーマンで伺うことができました。「鳥大に行きたい」という気持ちがより強くなりました。入学志願票は卒業生のものを参考に細かく記入。面接練習は「先生全員を制覇するぞ」の勢いで。先生ごとに質問の仕方が違うので、臨機応変な対応ができるようになりますよ。

環境の基礎知識を広くストックしよう

小論文の課題文には英文の資料が出されますが、環境に関する英文問題を英語の先生に作ってもらい練習していたことが功を奏しました。課題作業は地球環境に関しての出題。文章を読んで表の数値を算出し、それを基にグラフを作成、自分の意見をまとめるという作業でしたが、90分では時間が足りないくらいのボリュームに焦りました。怖くて後半は手が震えるほど。でも、冷静に考えれば分かる問題。最後の面接でも課題を理解しているかどうかを真っ先に問われ、読解力、思考力、応用力が問われているのだと感じました。小論文も課題作業も環境に関する専門用語が結構出てくるので、新聞や関連書籍を読んで基礎知識を蓄えておくことは必須です！

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：5人

【趣旨】地域環境(自然・歴史・資源・エネルギー・ライフスタイル)をトータルに学習し、調査・研究の実践力を身につけ、地域の環境づくりに貢献できる人材を育成します。地域環境学の課題解決に向けて、とくに意欲と実行力をもつ人を様々な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

知的好奇心、行動力、ならびに思考の柔軟性に富み、かつ基礎的な英語力を備え、次のいずれかに該当する人を求めます。

- 地域固有の自然(地形・地質・動植物)の成り立ちや、そこに暮らした人々が歴史的に築きあげた智慧などに強い興味のある人
- エネルギー・資源の有効活用や新技術の開発、あるいは環境と人間の健康との相互作用などに強い興味のある人

平成25年度AO入試第2次選考<選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

全体を通して求める力

自然現象や社会的現象などに対する科学的な視点や考え方、課題文や図表資料を読み解く読解力、面接での質問を聞き取る理解力、自分の考えを伝えるために必要となる論理的思考力、自己表現力、文章構成力、作図能力を求めます。

小論文、課題作業

小論文は再生資源の越境移動に関する和文資料と英文資料を読み、英文の和文要約や、これら2つの資料を参考にして有害廃棄物を含む再生資源の国境を越えた移動が、環境汚染を引き起こさないようにするために必要な方策を論述解答する内容でした。課題作業では、2つの大問を設けました。ひとつは1960年~2010年における日本国内の木材需要量を用途別に示したデータからグラフを作成し、読み取れることを論述解答するものでした。もうひとつは、標高点や土地利用の地図記号などをちりばめた地図を提示し、等高線や地形断面図を描かせる内容でした。

小論文と課題作業では、文章読解力、文章作成力、論理的思考力、グラフによる表現力、空間認識能力、環境問題への関心の度合いなどを評価しました。

個人面接

20分程度で行い、本学科の志望理由や学習意欲、自己表現力、論理的思考力を評価しました。提出書類、小論文や課題作業などに関連した内容も質問しました。

高校時代に履修が望ましい教科、領域

理数系の教科(数学、物理、化学、生物、地学)に強い興味を有し、英語での理解ができること、野外での自然観察や科学的な実験・体験学習に強い興味・関心を持っていたり、積極的に参加していたりすることを望みます。

かわた なおき
3年 | 河田 直樹 さん [鳥取県立鳥取工業高等学校 出身]



鳥取のお気に入り

田舎ならではの自然が好き
北には紺碧の日本海、南側は中国山地に囲まれ
ている鳥取県は、田舎けど自然豊かで、とても
住みやすい所です。雨や雪が多いのは玉にキズ
だけど、鳥取県産の食材は美味しいものばかり！

国家資格取得がAO入試を後押し

地元ということもあり、高校入学時から鳥大工学部への進学を意識。高2の時に「水質関係第4種公害防止管理者」の国家資格を取得。合格率が約20%の難易度の高い資格で、さらに3年生の時には第1種も。資格取得で「AO入試でいけるのでは」という自信が芽生えました。高2、高3と2年連続でオープンキャンパスを訪れ、先輩の体験談を聞いて「鳥大生になりたい」という思いがますます高まり、AOで受験することに。面接練習で志望動機を丸覚えして話していたら、先生から「長くても聞く気が失せる」との厳しい指摘が。簡潔にまとめて伝えること、専門的なことを問われても答えられるよう心がけました。

事前準備を怠らなければ怖くない!

小論文は、学校で受ける小論文模試と過去問で練習。当日の課題は「事業仕分け」。少し前の話題だったので記憶があいまいで、「ヤバイ」と思いました。やはり気になるワード、世界の大きな出来事はある程度把握しておくことが大切ですね。過去問には必ず当たっておくこと。口頭試問で問われる英語・数学の基礎的な学力は、事前準備を怠らなければ大丈夫。自己推薦書や面接は自分自身をいかにアピールできるかなので、授業だけでなく高校でいろんな活動を行っておくと有利だと思います。大学ではダンス部に所属、部長を務めています。40人近くの部員をまとめるのは大変ですが、有意義な学生生活を過ごしています。

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：5人

【趣旨】高い基礎学力を有するだけでなく、温かい人間性を身につけるために、幅広い教養といろいろなものへの理解を深め、自ら課題を設定して解決していく自主性と個性豊かな人材の育成を目的としています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多面的に総合評価するAO入試を実施します。

社会開発システム工学科が目指すソフトなエンジニアリング技術の研究・教育に興味を持ち、さらに次のような人を求めます。

- 社会や政治、経済に興味があり、新聞や論説をよく読んでいる人
- 日本だけでなく、外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味を持つ人
- いろいろな事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新しく工夫することが好きな人

平成25年度AO入試第2次選考<選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

全体を通して求める力

社会開発システム工学科では、社会や政治・経済および外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味があり、様々な事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新しく工夫する人を求めます。

※ 第2次選考では、第1次選考の評価を加えることなく、第2次選考の評価結果のみを採用しました。

講義等理解力試験	試験時間の前半に、本学科の教育内容や研究内容に関するミニ講義を受験生全員が同時に受講し、その後、前半の講義内容に関する筆記試験を行いました。
小論文	学科のアドミッションポリシーおよび「AO入試で求める人物像」の要件への適合度を見るため、政治、経済、国際、環境などの社会的テーマ1つについて出題し、指定の文字数(例年約800字)の小論文にまとめてもらいました。特に、テーマの構造を論理立てて説明でき、自分の意見・考えを明確に記述できる能力を確認しました。なお、平成25年度入試での小論文テーマは「電力を中心とする今後のエネルギー政策はどうあるべきか」についてでした。
個人面接	社会的な事項への関心度、知的な探究心、学習意欲、自己アピール等について、5人の試験委員により約15分間の個人面接を行いました。
口頭試問	5人の試験委員により約15分間の個人試問を行いました。基礎学力(数学、英語)の確認を行い、小論文および講義等理解力試験の内容についても試問しました。

※ 工学部は平成26年4月に改組を予定しており、学科名が変更になる可能性があります。

2年 | 白岩 あゆみ さん [福島県立田村高等学校 出身]

鳥取のお気に入り

ウィンタースポーツに挑戦!

東北地方出身ながらウィンタースポーツの経験がない私。鳥取には中国地方最高峰の大山、若桜町の氷ノ山といった有名なスキー場があるので、在学中にスキーとスノボにチャレンジしたいですね。



農業技術を学んで故郷に持ち帰りたい!

私の故郷は、東日本大震災で被災した福島県葛尾村です。実家は米・たばこなどを育てる農家ですが、原発事故の被害によりいまだ農業を再開できていない状況。「技術を学んで福島の農業を助けたい」という思いから、推薦で入れる農学系の大学や専門学校を探していました。そんな中進路指導の先生が「推薦をやるなら面接練習を兼ねてAOも受けてみる」と鳥大を勧めてくれたんです。マス目も下線もない白紙の入学志願票には悩まされました。どう書けばいいのかさっぱり分からなくて。生物の先生に添削してもらいながら何度も書き直し。だらだら書き連ねるのではなく、きれいにまとめるのが難しかったですね。

面接は丸暗記せず自然な言葉で伝えよう

面接は、丸覚えでは言葉が硬くなる。キーワードを覚えて、その時浮かんだ言葉で自然に話すのがコツ。寡黙な人、突っ込んでくる人など、様々なタイプの先生と練習しておく慌てずに済みますよ。1次選考は東京で受験したんですが、前日に台風が来て乗車予定だった新幹線がストップ! 急きょバスに変更、なんとか深夜に到着したものの、もし試験会場が鳥取だけだったらアウトでした。1次合格後に課題論文のテーマが通知されます。2次選考当日までに仕上げればよいので時間は十分ですが、論文練習をあまりしていなかった私は、提出前夜にホテルで清書する始末。苦手な人は論文練習を怠らないで。

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定): 14人

【趣旨】太陽と水と土に根ざす農学を自ら主体的に学び、幅広い視野と創造性をもって社会へ貢献できる人材の育成を目的としています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多面的に総合評価するAO入試を実施します。

いのちを育み環境を守る意志が強く、自ら積極的に学ぶ姿勢・チャレンジ精神・リーダーシップを有し、かつ次のいずれかに該当する人を求めます。

- 食料生産、自然環境修復あるいは生物資源の利用に関する研究・技術の開発普及に貢献することを志す人
- アグリビジネスあるいは環境関連産業において起業家を志す人
- 農学に関する知識・経験・実践力をもって地域・国際貢献を志す人

平成25年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して求める力

生物資源環境学科では、自ら意欲的に学び、学んだことを実践に応用できることを重視しています。高校時代に履修できる、あらゆる科目を積極的に学び、知力、体力、コミュニケーション力、気力、実践力の基礎を養ってください。

※選考に際しては、下記の内容をアドミッションポリシーに照らして総合的に評価しました。第2次選考では、第1次選考の評価を加えることなく、第2次選考の評価結果のみを採用しました。

書類審査	第2次選考に対して提出された調査書・入学志願票を精査しました。
課題論文(1日目)	平成25年度入試は「あなたは大学で何を主体的に学びますか?その内容、方法および工夫について」について具体的に1000字程度で論ずるものでした。第1次選考合格者に課題論文のテーマを与え、事前に記入し、受験生は第2次選考当日に持参しました。
グループディスカッション(1日目)	グループディスカッションは、受験者を4グループに分け、グループ毎に討論を行いました。設定された課題に対する自分の考えを論理的に述べることや、他の受験生の意見などを聞いた上での意見のやり取りなど、多面的に評価しました。
個人面接(2日目)	3名の試験委員による1人30分程度の面接を実施しました。また、高校レベルの基礎的な英語力を問う試問を行いました。

Q&A

よくある質問

THE QUESTION WHICH OFTEN EXISTS

Q.01 AO入試と推薦入試の違いは？

A. 推薦入試は一般に高等学校長からの推薦、指定した出願条件による入試です。これに対してAO入試は一般に「自己推薦型の入試」であり、1校からの出願人数に制限はありません。本学のアドミッションポリシーを理解した上で、「学ぶ意欲、将来の研究や将来に対する構想」を提出書類、面接等で直接アピールしてください。

Q.02 AO入試の特徴・メリットは何ですか？

A. 1次・2次選考を通じて、意欲、論理的な思考力・表現力に加えて、高校での学習履歴・基礎学力、様々な活動などを評価することが特徴です。その意味では、低年次からAO入試を見据えて高校生活を過ごしたかが問われます。本学では例年10月末に合格発表となり、入学手続き後は、入学前教育合宿研修で各学部の教員からアドバイスを受けたり、同期入学者や先輩と交流を持つこともできます。スムーズに大学生活に入ることができるのは、AO入試の大きなメリットと言えます。

Q.03 他の入試での入学者と入学後の教育の違いはありますか？

A. 本学では、推薦入試(I・II)、一般入試(前期日程・後期日程)など多様な入試を行っていますが、入試方法によって、カリキュラムや卒業要件などの教育内容の違いはありません。AO入試での入学者は学生生活を積極的に行っており、各学科内や部活動、サークル活動でもリーダーシップを発揮しているようです。

Q.04 他の入試(一般・推薦)との関係、有利不利はありますか？

A. 本学ではAO入試で不合格になった場合でも、その後の推薦入試(I・II)、一般入試(前期日程・後期日程)に出願が可能であり、不利になることはありません。ただ、AO入試と推薦入試・一般入試では異なる観点で評価を行うことを理解しておいてください。

Q.05 なぜ、入学前教育を行うのですか？

A. AO入試では合格から入学まで4カ月以上間隔があり、その期間、基礎学力・学習習慣の維持が必要であるため、「高等学校での学習」と「大学での学び」を接続する入学前教育を行います。内容は、宿泊を伴う合宿研修、自宅でのe-ラーニング、学科指定のレポート等です。詳しい内容は、【本学ホームページ-受験生の方へ-入試情報-入学センター-入学前教育について】をご覧ください。

Q.06 提出書類、選抜方法とその内容は？

A. 出願に必要な書類は、入学志願票(志望理由・自己PRを含む)・調査書等です。入学志願票以外の資料等(賞状の写、論文、写真、CD)は添付できません。第1次選考は出願書類と面接の総合評価です。全国に5会場を設置するので都合の良い会場で受験してください。第2次選考の内容は学科により異なり、スクーリング、講義等理解力試験、小論文、課題論文、課題作業、グループディスカッション、個人面接などです。詳しくはAO入試学生募集要項でご確認ください。

Q.07 資格・検定の取得、コンテスト等は どう扱われますか？

A. AO入試は資格や検定を取得したことや各種コンテスト入賞の有無を評価する入試ではありませんが、その分野に関心や適性、能力があることを判断する材料になります。一例として、本学では入学後に英語力を重視するため、英検、GTEC for STUDENTS、TOEIC Bridge等を受検した方は志願票の【資格・検定】欄に記載することになっています。その他の資格・検定、コンテストについても、自分の活動の中での位置づけ、取得に至るプロセスを説明できるようにしてください。

Q.08 過去のAO入試問題の閲覧、問題冊子(見本)を入手することはできますか？

A. 過去の入試問題は、平日の9:00～17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。問題冊子については、受験生本人にお渡しすることはできません。あしからず、ご了承ください。なお、本学が各地で参加する進学相談会においても、平成25年度AO入試の問題見本を閲覧することができます。

Q.09 学生募集要項の請求、情報の入手方法は？

A. AO入試学生募集要項は7月上旬から配付開始予定です。本学のホームページから請求できるほか、進学相談会、本学窓口でも直接入手できます。学部・学科に関する情報はホームページ、オープンキャンパス等で入手できます。また、各地の進学説明会には入学センター教員が出席します。ご不明な点、ご相談がある方は会場へお越しください。

入学前教育

2泊3日の「合宿研修」、e-ラーニング

- ✓ 本学では、平成15年からAO入試合格者、推薦入試合格者に対して、2泊3日の「合宿研修」を含む入学前教育を行っています。模擬授業やプレースメントテスト、進路検査、合格した学部・学科での説明、在学生との交流などのプログラムのなかで、現在の学力の把握、入学後に学ぶ内容や環境の説明、さらに先輩や同級生とふれあうことで、合格後のモチベーションを高め、大学生活のスタートを支援しています。
- ✓ 合宿研修以降は高等学校教育への影響を配慮し、入学センターがe-ラーニング(Webを利用した遠隔学習)を行い、合格した学部がレポート提出を求めるなどの教育、指導を行います。

合宿研修参加者の声

私はこの合宿に参加することによって、4月から同じ大学で学ぶ仲間との絆をつなぐことができ、また入学後の展望を持つことができました。4月までの約4か月をどのように過ごして行くのかを決定する重要さも改めて確認し、日々努力を惜しまずに有意義に過ごして行きたいと思いました。(男子)

今回、この合宿を企画、運営していただきありがとうございます。入学前に同じAOで合格した子と交流することができ、心強いともだちになりました。先輩方との交流は、鳥大生になるんだという実感が湧き、良い刺激になりました。(女子)

合宿研修タイムスケジュール

第1日 [11月16日 (金)]

第2日 [11月17日 (土)]

第3日 [11月18日 (日)]

7		朝食 (7:00~)	朝食 (7:00~)
8		大学へ移動	合格者1分間抱負発表 (8:00~9:00)
9	プレースメントテスト[選択]は、国語、物理、化学、生物の1科目です。学科により指定される場合と個人で選択できる場合があります。	プレースメントテスト[選択] (8:30~9:35)	閉講式 (9:00~9:10)
10		休憩 (9:35~9:45)	
11		プレースメントテスト[数学] (9:45~10:35)	宿舎発 9:15
12		休憩 (10:35~10:45)	鳥取駅着 9:35
13		自己発見レポートの説明と実施 (10:45-12:15)	鳥取駅発 9:40
14	開講式 (13:00~13:05) プログラム説明 (13:05~14:30)	昼食 (12:15~13:00)	鳥取大学着 10:00
15	移動 (14:30~14:45)	グループワーク (13:00~16:00)	グループワークは、5~6名の合格者と2名程度の在学生がいっしょになり、課題に取り組みます。
16	学部・学科での説明 (14:45~16:15)	グループワークの発表 (16:00~17:15)	
17	移動 (16:15~16:30)	宿舎へ移動	
18	プレースメントテスト[英語] (16:30~17:30)	夕食 (17:50~19:00)	
19	宿舎へ移動	在学生との交流 (19:00~21:00)	
20	夕食 (18:10~20:00)		
21	グループワークの説明 (20:00~21:00)		

- ◆工学部社会開発システム工学科では、入学後の指導の参考にするため、以下に指定した大学入試センター試験3教科5科目について、可能な限り受験して、自己採点の結果を報告してください。

数 学：(数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎から1)
理 科：(理科総合A, 理科総合B, 物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから2)
外国語：英語(リスニングを含む)

⇒ 鳥取大学の情報を調べるには



Admissions Office

■ 大学案内2014

■ 平成26年度AO入試学生募集要項

いずれも7月上旬頃、完成予定です。下記の本学ホームページまたは右下のQRコードからお申し込みください。
7月以降の進学相談会（高校生、高卒生、保護者等対象）・8月のオープンキャンパスでも入手できます。

■ 進学相談会（AO入試出願日までの実施分／他大学との合同形式）

時間内は随時、入退会ができますので、お気軽に会場までお越しください。また、質問内容を右下のお問い合わせE-mail、または入学センターホームページのお問い合わせフォームで事前に送信いただくと当日はスムーズに対応できます。なお、会場の追加や時間の変更などもありますので、ご来場の際には入学センターホームページの進学相談会をご確認ください。

日程	時間	都市	会場
4月25日(木)	15:30~18:00	倉吉	ホテルセントパレス倉吉
4月26日(金)	15:30~18:00	鳥取	ホテルニューオータニ鳥取
5月7日(火)	15:30~18:00	松江	くにびきメッセ
5月8日(水)	15:30~18:00	米子	米子コンベンションセンター
5月9日(木)	15:30~18:00	鳥取	ホテルニューオータニ鳥取
5月10日(金)	16:00~18:30	岡山	岡山コンベンションセンター
5月25日(土)	13:00~16:00	大阪	天王寺ミオ
5月28日(火)	15:00~19:00	北九州	ステーションホテル小倉
5月29日(水)	15:30~18:30	久留米	ハynesホテル久留米
5月30日(木)	15:00~19:00	福岡	ホテルニューオータニ博多
6月2日(日)	13:00~16:00	京都	メルパルク京都
6月8日(土)	11:00~17:30	京都	みやこめっせ
6月12日(水)	15:30~18:30	長崎	ベストウエスタンプレミアムホテル長崎
6月13日(木)	16:00~19:00	鳥取	ホテルモナーク鳥取
6月13日(木)	15:00~18:30	大分	トキハ会館
6月14日(金)	16:00~19:00	米子	米子コンベンションセンター
6月15日(土)	10:00~16:00	名古屋	愛知県体育館
6月15日(土)	11:00~17:30	神戸	神戸国際展示場
6月15日(土)	13:30~16:30	松江	くにびきメッセ
6月22日(土)	11:00~17:30	大阪	インテックス大阪
6月23日(日)	10:00~16:00	東京	キャンパス・イノベーションセンター東京
7月12日(金)	14:00~17:00	明石	明石市立産業交流センター
7月13日(土)	11:00~17:30	東京	東京ビッグサイト
7月13日(土)	11:00~16:00	大阪	大阪国際会議場
7月14日(日)	11:00~16:00	広島	NTTクレドホール
7月15日(月・祝)	11:00~17:00	東京	サンシャインシティ
7月20日(土)	11:00~17:30	名古屋	ポートメッセなごや
7月21日(日)	13:00~16:00	岡山	ホテルグランヴィア岡山
7月21日(日)	11:00~16:00	福岡	福岡国際センター
7月29日(月)	13:00~16:30	大阪	大阪国際会議場
8月19日(月)	13:00~16:00	浜松	ホテルクラウンパレス浜松
8月20日(火)	13:00~16:00	静岡	ホテルアソシア静岡
8月30日(金)	13:30~16:30	姫路	ホテル日航姫路
9月1日(日)	13:00~16:00	津	アスト津

■ 学外オフィス（大阪オフィス、東京リエゾンオフィス）

各オフィスでも大学案内、学科パンフレット、学生募集要項等を配布します。
 (大阪)〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部内
 (東京)〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター東京603号

オープンキャンパス2013

※プログラムの詳細、申込に関しては、「本学ホームページ入学試験情報」をご確認ください。

8/3 医学部：米子キャンパス
(土) 農学部：鳥取キャンパス

8/4 地域学部：鳥取キャンパス
(日) 工学部：鳥取キャンパス



鳥取大学
Tottori University

■ 学部・学科構成

※朱色がAO入試実施学科です。

地域学部 Faculty of Regional Sciences

地域政策学科・地域教育学科
 地域文化学科・地域環境学科
 地域文化学科 芸術文化コース

医学部 Faculty of Medicine

医学科・生命科学科
 保健学科 看護学専攻
 保健学科 検査技術科学専攻

工学部 Faculty of Engineering

機械工学科・知能情報工学科
 電気電子工学科・物質工学科
 生物応用工学科・土木工学科
 社会開発システム工学科
 応用数理工学科

農学部 Faculty of Agriculture

生物資源環境学科
 共同獣医学科



お問い合わせ E-mail
(ao-1@adm.tottori-u.ac.jp)



鳥取大学携帯サイト

大学案内2014・学生募集要項・
学部パンフレット請求、
メールマガジン登録受付

鳥取大学入学センター（学生部入試課）

〒680-8550 鳥取市湖山町南4-101
 TEL 0857-31-5851 FAX 0857-31-6778
 URL(パソコン) <http://www.adm.zim.tottori-u.ac.jp/>

このパンフレットの情報は、変更になる場合があります。必ず「平成26年度AO入試学生募集要項」をご確認ください。